

子どもと一緒にできる折り紙遊びの世界



写真1：折り紙で作った動物園

寒い日や雨が続く時期、子どもがいるご家庭にとって元気いっぱいの子どもの外へ遊びに連れて行けないということはとても悩ましくなるはず。特に、冬の間は公園へ行っても遊んでいる子どもが少ないので、すぐに飽きてしまうことも…。そんな時は、是非とも温かい家の中で、子どもと一緒に並んで、本や動画を見ながら折り紙をすることをおすすめします。

幼児期には、体力づくりのための運動以外にも、手先の巧緻性を鍛えることも大事とされています。折り紙は脳で考えながら指先を使って折る動作をするので、子どもだけに限らず大人にとっても頭の体操になるので、とても良い遊びだとされています。また、折ることは小さな子どもにとってとても忍耐力や集中力が必要な動作です。思っていたようにきれいに折ることができずイライラしてしまうこともあるかと思いますが、そばにいる大人がうまくやり方を伝えてあげることでできなかったことができるようになり、子どもの気持ちの中にも達成感が芽生えます。

折り紙の本に書かれてある図を見慣れるようになると、算数に出てくる立体の展開図などの理解にも役立つほか、空間認知力が高まることにも繋がります。最初のうちは本などを参考に折り紙をするが、そのうち子どもが自分で自分の想像力を働かせながら折ることもあるので想像力も養えます。そして何よりも、小さい子どもが折り紙をするときはお父さんやお母さん、祖父母などと一緒にすることになるので、親子間や世代間のコミュニケーションも育まることとなるでしょう。

1) 触れる



写真2：様々な色の折り紙

子どもが自分で折るのがまだ難しい時期は、大人がきれいな色の折り紙を見せてあげることや触れさせてあげることから始めてもいいでしょう。いろいろな色や模様の折り紙を見せて好きなものを選んでもらったり、色の名前を覚えたりすることができます。最近はキャラクターものの折り紙も売られていますので、好きな折り紙を選ぶのだけでも楽しくなるはずです。

日本では折り紙は文房具店や 100 円均一などの身近な店で売られています。一番見慣れているサイズは 15cm 角の正方形の形となっております。この一般的なサイズは 2 歳くらいの小さい子どもにとっては大きく感じることもあるので、初めに折るときは大人が 10cm 角くらいの大きさに切ってあげるか、そのサイズの折り紙を買って使うのがいいかもしれません。

2) 破る・ちぎる・丸める



写真3：保育園での新聞紙遊びとビニールに入れるお片付け

次に折り紙、または、新聞紙をびりびり破るということをしていてもいいでしょう。お父さんやお母さんも一緒に細かく破ったり、細かくちぎったりします。そして細かくなった紙を両掌にとってお子さんの頭の上から雪のようにひらひら降らせてみるでもいいでしょう。そして、最後は、一枚の大きな新聞紙を広げたり、または大きなビニール袋を出したりして、その中に細かくちぎった紙を一緒に集めてくるむと大きなボールとして遊ぶこともできます。ちぎった紙のごみを一緒に拾い集めることでお片付けの習慣づけにもなるので、お子さんが小さいうちは必ず大人と一緒に楽しくお片付けまでしましょう。このような新聞紙を使った遊びは保育園などでも良く行われています。大勢でやった方が楽しさも増すので、誕生日会や正月など友達や親戚が多く集まった機会にみんなでしてみるのもおすすめです。

3) 折る



写真4：ちぎったり切ったりした折り紙をのりで貼る

折り紙に慣れてきたところで、折る練習をします。子どもに折ることについて伝える際に、「指できれいにアイロンしよう」というと伝わりやすいかもしれません。最初は適当なところで一回折れば十分です。子どもが折ったものにクレヨンやシールを貼ってみるのもいいですし、【写真4】のようにのりを使って大きな紙に貼るのもよいでしょう。

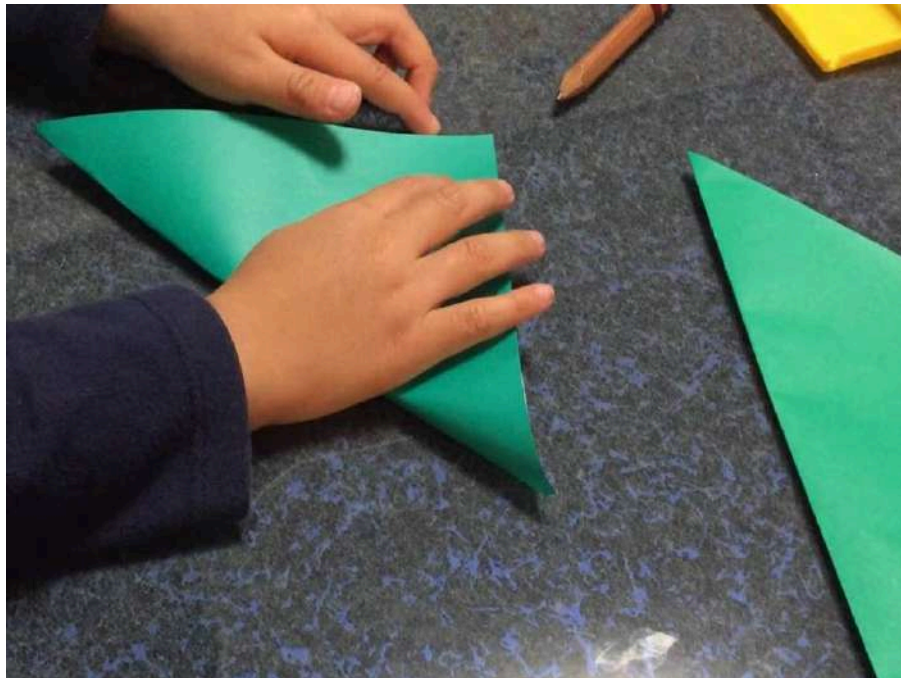


写真5：緑色の折り紙を使って山を作る

折ることができるようになったら、真っすぐ折る練習や角を合わせて折る練習に進めていくとスムーズです。例えば、【写真5】のように緑色の折り紙を使って角を合わせて一回折ると、山ができます。子どもがおったものに大人と一緒に線や絵を書き足してあげたりして、折りやすいように印をつけてあげることで、子どもも折り紙をすることが楽しくなります。

難しそうに感じられる折り紙ですが、5回折るだけで作ることができるかわいらしい作品がたくさんあります。筆者は雨続きで外へ遊びに行けなかった日に二人の子どもと一緒に【写真6】の本を参考にして【写真7】のような折り紙の町を作り上げることができました。

小さい子どもはできないとすぐに嫌になったり、少しの時間に折り紙をただで飽きたりしてしまうこともあります。大人がそばについてできないところを手伝ったり、折り紙をしながらできたものを紙に貼り、さらにお絵描きをしたり、街の中で車や電車を走らせたり積み木でビルを作ったりなどと、さまざまな遊びを織り交ぜることで飽きることなく長い時間遊び続けることができます。



写真6：「5回おったらできあがり!!はじめてのおりがみ」パンダの折り方



写真7：折り紙で作った街とその周りを走る線路

折り紙は紙さえあればどこでもできる遊びです。上にあげたような遊び方はほんの一例です。子どもの想像力によってこれ以外の遊び方も様々です。是非とも親子で一緒に折り紙遊びに挑戦し、その魅力に気付いて頂けたら幸いです。

文/照片 [原田捷子](#)

编辑修改 JST 客观日本编辑部